

# 信金王国・京都、その実は おんぶにだっこの地域経済

京都みやこ信用金庫、南京都信用金庫が突如破たん申請を行った。これまで「信金王国」と呼ばれていた京都での破たんは、全国の信用金庫業界の再編を加速させることになるだろう。この時代、預金保護は常識となっているが、問題は融資の面。特に不況にあえぐ京都の染織・織物関係の中小企業は、これまでどおりの融資が受けられるかどうか、非常に微妙な立場に立たされたことは間違いない。

そして、破たんしたふたつの信用金庫の事業を引き継いだのは京都中央信用金庫。この事業引き継ぎにより、中信の資金量は全国でナンバーワンとなった。中信は「地域経済への悪影響を考慮して」受け皿信金となることを決断したが、融資継続に関しては評価方法の変更などが行われる可能性は充分にある。今こそ、金融機関は中小企業の支援を、そして中小企業は融資に依存しがちな経営のあり方を見直す機会とし、健全な地域経済を築き上げてゆくべきではないだろうか。

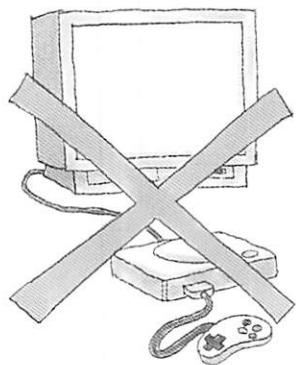
一番新しい日本の一ページ

## いまどきの歴史

少年と犯罪

### 学校や家庭はもはや役不足 法でも少年の行動規範を示すべき

## 万引きには「ゲーム禁止」の刑! サギには 「テレビ禁止」の刑!!



日野小学校で起こった小学生刺殺事件。この原稿執筆段階ではまだ犯人逮捕はできておらず、殺害された小学生と同世代の子供たちは極度の不安にさらされている。それにしても、最近では子供が犯罪に巻き込まれたり、起こしたりというケースがやたら目立つ。和歌山の中学生殺人未遂しかり、ネット販売を利用して一度も金を払わず商品をだまし取り続けたサイバー小学生しかり。

そのような低年齢層にも充分に犯罪能力(?)が備わっていることを知らしめる事件があったにも関わらず、少年法の見直しがトトロロしている事実はいったいなぜ? 義務教育での人間教育は最悪、親でさえロクに子供をしつけられないこの時代、せめて法で子供の行動の規範を示すべき。犯罪に手を染めた少年の将来を保護するのも大切だが、これからの少年犯罪を少しでも減らすためにも、少年にも厳しい罰則は必要だと思う。死刑はダメ、長い懲役もダメというのなら、それにかわる罰則もしくはボランティア活動などを設けよ。子供にだって法を理解できるほどの知力は充分備わっているのだから。子供をあなどるでない。

## 銀行の融資課にも 目利きが必要



## ゴミもつらない事も大切



家ぞ食べる弁当なら  
「お箸要りません」  
タバコヒコヒーだけなら「袋要りません」  
などきど...

### ゴミ問題

## 日本人のゴミ意識の低さが露呈! ついにゴミで他国を陵辱とは...

ある産業廃棄物処理会社が再生資源と偽ってフィリピンに有害廃棄物を輸出していたことがわかった。これはフィリピンに対してあまりにも非礼な事件だと思う。しかもフィリピンの現状はゴミの山で貧しい少年たちが少しでも金になるものを拾っているスモーカーマウンテンと呼ばれる地域もある。そんな場所に有害廃棄物が放置されたら、それこそ無差別殺人に匹敵する重罪だ!

それにしても日本のゴミ意識はあまりにも低すぎる。今まで「使い捨て」文化が長く続いていたがために「捨てる=自分とは関係なくなる」という意識が植え付けられてしまったのではないか。特に京都は分別のレベルが最低に近い状態。今、個人レベルで細かいゴミ分別したいと思ったところで、それを受け入れる体制すら京都にはない。確かに京都は古い町だけに新しいゴミ規則への対応が困難な世代も多いだろう。ならば、せめて回収後のゴミを分別するシステムを強化してくれよ。



文◎大塚 祐希

1968年6月26日大阪府八尾市生まれ。尊敬する人物はブラックジャック先生と矢吹文(あしたのジョー)、ネロ(フランダーズの犬)。趣味はサッカーや相撲などのスポーツ観戦だが、当の本人はスポーツとはほど遠いウラナリビョウタン。体力の乏しさを棚に上げ、毒舌かつほん筋に日々磨きをかけて。



イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。イラスト制作ユニット、キヤトル・イラストレーションのリーダー。北山のオフィスで絵を描いたり、ルー4で出かけたたり、雑貨屋・本屋・レコード店で過ごしたりの合間には、音楽ユニット「duex cafe」で歌声も披露。HP◎http://www.d1.dion.ne.jp/ryoguchi